

～みんなと地域が輝き続けるまちづくり事業～

第3次 湊地区地域づくりビジョン

令和5（2023）年度～令和8（2026）年度



湊町のシンボルマーク

令和5（2023）年4月19日

みんなと湊まちづくりネットワーク

目次

1. 計画策定の目的 1 P
2. 湊地区の概要（地域カルテ） 2 P
3. 第2次ビジョンのふりかえり 7P
4. 第3次ビジョンの趣旨 10P
5. 第3次ビジョンの期間 11P
6. 将来像・基本目標・地域づくりのテーマ・重点項目 . . 12P
7. 分野別目標・活動の柱・活動領域・活動内容 13P
8. 活動スケジュール 15P

1. 計画策定の目的

少子高齢化に伴う人口減少が加速する中、湊地区においても、地域行事の廃止や、地域役員のなり手不足など、地域活動の維持が困難になりつつあります。

そうした中、平成 26 (2014) 年秋頃から湊地区区長会が中心となって、地域活性化のための新たな組織の検討を開始し、平成 27(2015)年 3 月に湊地区地域活性化協議会を設立しました。

その後、地域課題に対応する活動方針や活動内容について 1 年間の協議を重ね、平成 28(2016)年 3 月に「湊地区地域づくりビジョン (以下「第 1 次ビジョン」という。)」(計画期間：平成 28(2016)年度～平成 30(2018)年度)、平成 31 年 3 月に「湊地区第 2 次地域づくりビジョン (以下「第 2 次ビジョン」という。)」(計画期間：令和元(2019)年度～令和 4 年度(2022)年度) を策定し、計画に基づいた様々な事業に取り組んできました。

また、会津若松市では、平成 28(2016)年 6 月に「会津若松市自治基本条例」を制定しました。条例の第 12 条 5 項には、「議会及び市長等は、地域におけるコミュニティの活性化を図るため、地域の実情を踏まえ、地域のことを市民が自ら考えて実行できる仕組みについて検討するものとする。」と記されていますが、湊地区ではその「仕組みづくり」を住民・行政・議会が連携を行いながら、率先して取り組んできました。

この度、第 2 次ビジョンの期間が終了することから、期間内の取組を振り返り、湊地区の現状や社会の動向を見つめ直し、新たな将来像を描くため、第 3 次湊地区地域づくりビジョン (以下「第 3 次ビジョン」という。) を策定するものです。

<ビジョン策定の経過>

平成 27(2015)年 3 月	湊地区地域活性化協議会設立
平成 27(2015)年 4 月	湊地区地域づくりビジョン策定開始
平成 28(2016)年 3 月	湊地区地域づくりビジョン (第 1 次ビジョン) 策定
平成 28(2016)年 4 月～	第 1 次ビジョンの取組を開始
平成 30(2018)年度	第 2 次ビジョンを策定
令和元(2019)年度	・第 2 次ビジョンの取組を開始 ・組織の名称を「みんなと湊まちづくりネットワーク」に変更 ・地区社会福祉協議会設立 ・NPO 法人格を取得
令和 4 (2022) 年度	第 3 次ビジョン策定作業

2. 湊地区の概要（地域カルテ）

（1）地区の概要

ア 地理

湊地区は、福島県会津若松市の東部、猪苗代湖の西岸に接する地域です。

標高は 538m で、市街地よりも 300m 以上高地にあり、夏は冷涼で冬は豪雪の気候です。

5 つの大字（共和・原・平潟・静潟・赤井）内の 16 の町内会で構成されています。

- ①共和（西田面・上馬渡・下馬渡）
- ②原（原・高坂・田代）
- ③平潟（東田面・堰場・経沢）
- ④静潟（崎川・中田）
- ⑤赤井（赤井・四ツ谷・笹山・戸ノ口・笹山原）

地区の中心を国道 294 号線が南北に通っており、市街地へのアクセスは北部を通る国道 49 号線、旧滝沢街道、背炙山を通る県道 374 号線（冬期間通行止め）があり、公共交通機関は会津乗合自動車の路線バス（河東・湊線）が運航しています。

※平成 29(2017)年度から、みんなと湊まちづくりネットワークが地域内交通（みなとバス）の運行を行っており、令和 3 年 10 月から自家用有償旅客運送を開始しました。

イ 歴史

湊地区には、約2万5千年前の旧石器時代から人が住んでいました。笹山原地区では、旧石器時代の遺跡が多数発見されています。また、縄文時代は、7000年前からの遺跡が確認されています。

戦国時代には会津の東の要衝として、鶉ノ浦城を始めとした多数の山城が築かれていました。天下人となった豊臣秀吉が通った北限の地でもあり、幕末には戸ノ口原が戊辰戦争の激戦地となるなど、会津の歴史に深いつながりのある場所でもあります。

ウ 主な産業

地区の主要な産業は農業で、現在は大区画化が進み、集落ごとに農業生産法人も組織され、水稻・大豆・そば等を生産しています。

地区内には企業が少なく、商店は地区内に2店舗のみとなり、兼業農家や会社勤めをしている人は会津若松市街地や近隣市町村等への通勤者が多くなっています。

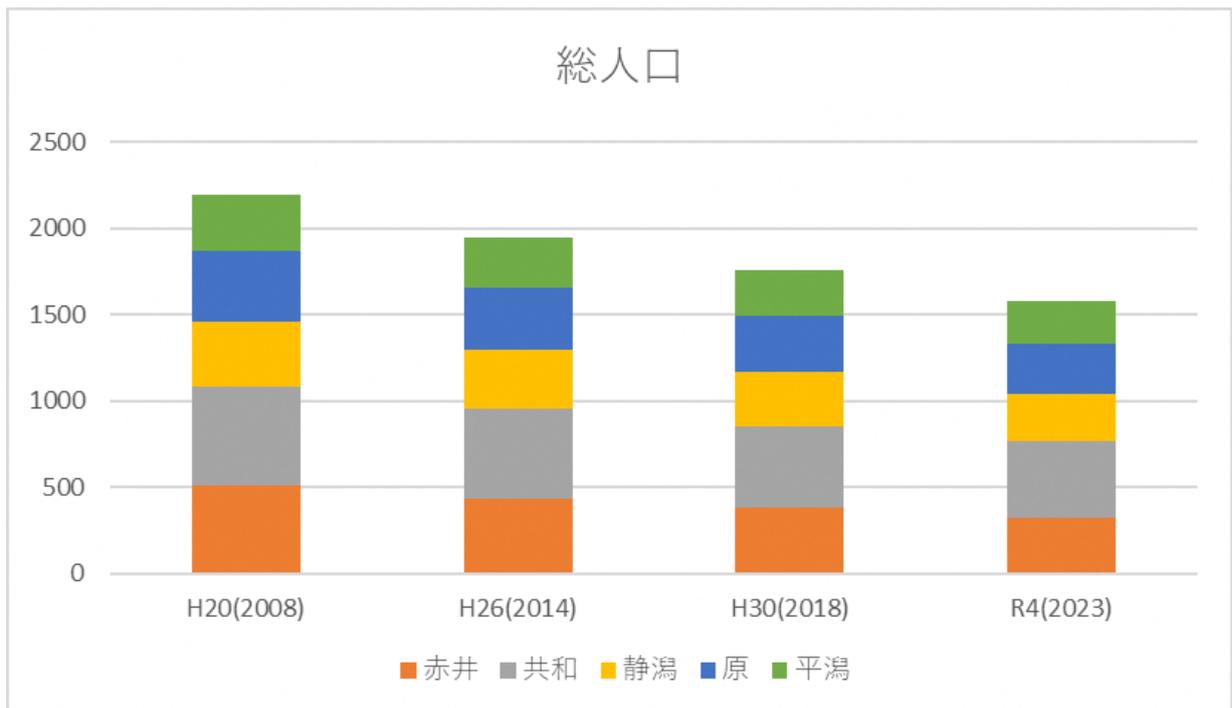
エ 人口構成

昭和30年(1955)年の人口は4,632人でしたが、都市部への人口流出等により年々人口は減少、4校あった小学校は平成11(1999)年に1校に統合されました。

令和5年1月1日現在の人口は620世帯1,546人となっています。

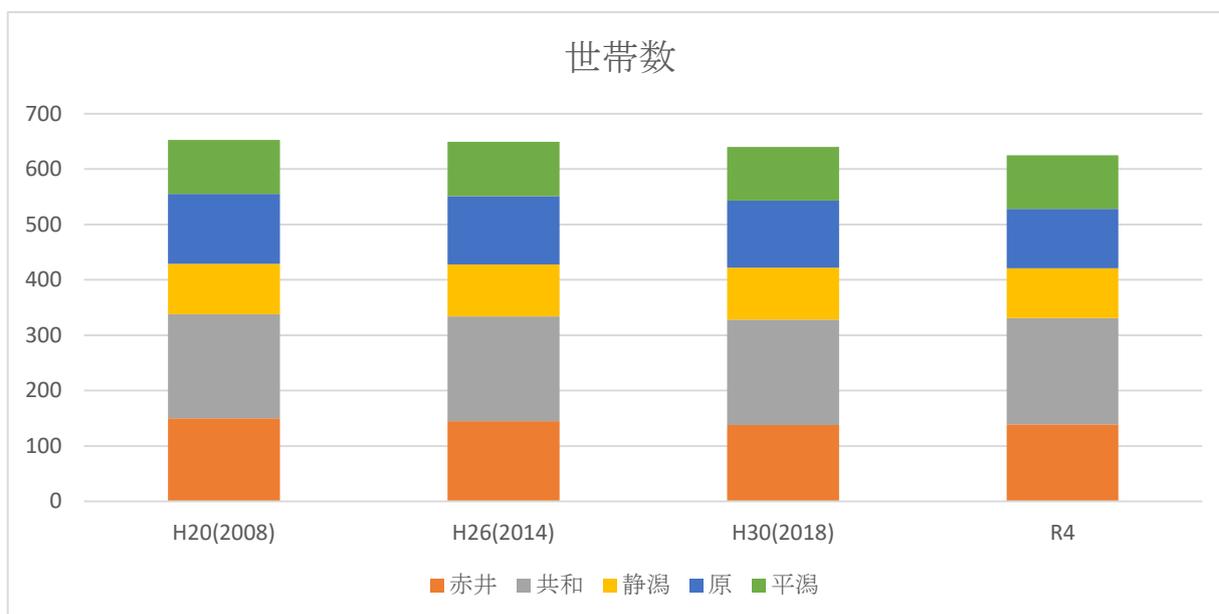
① 人口（各年4月1日現在）

地区/年	H20(2008)	H26(2014)	H30(2018)	R4(2023)	H30からの増減	H30からの増減率
総人口	2,213	1,948	1,759	1,578	▲181	▲10.3%
赤井	519	435	379	324	▲55	▲14.5%
共和	570	518	475	439	▲36	▲7.6%
静潟	373	346	314	277	▲37	▲11.8%
原	412	352	328	294	▲34	▲10.4%
平潟	339	297	263	244	▲19	▲7.2%



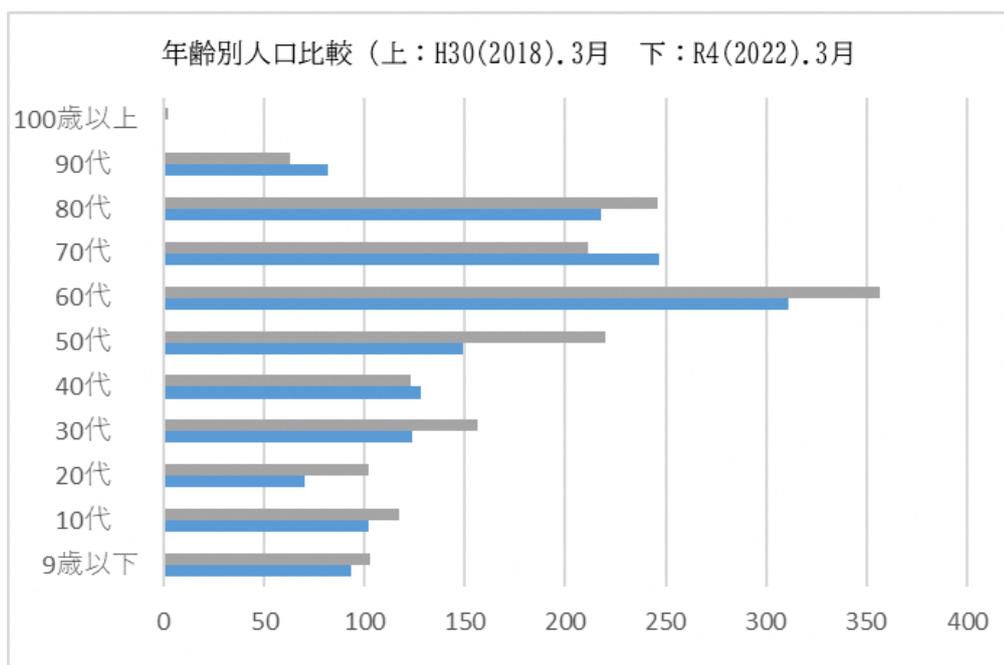
② 世帯数（各年4月1日現在）

地区/年	H20(2008)	H26(2014)	H30(2018)	R4(2023)	H30からの増減	H30からの増減率
総人口	653	649	640	625	▲ 15	▲ 2.3%
赤井	150	145	138	139	1	0.7%
共和	188	189	190	192	2	1.1%
静潟	91	94	94	90	▲ 4	▲ 4.3%
原	126	123	121	107	▲ 14	▲ 11.6%
平潟	98	98	97	97	0	0%



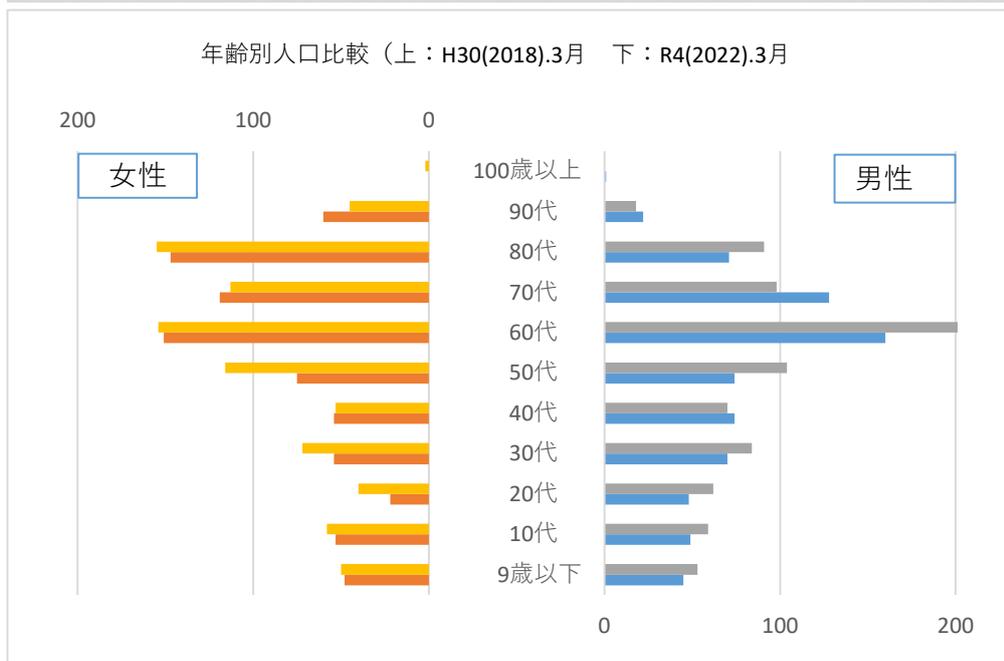
年齢別人口（令和4(2022)年3月31日現在）※特別養護老人ホーム絆入居者を除く

	0～9歳	10～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70～79歳	80～89歳	90～99歳	100歳以上
男性	45	49	48	70	74	74	160	128	71	22	1
女性	48	53	22	54	54	75	151	119	147	60	0
計	93	102	70	124	128	149	311	247	218	82	1



※湊地区の人口ピラミッドは60～80代が多く、20代が少ない構造になっています。

5年前と比べると70代、90代が増加、その他の年代は減少しており、特に50代と20代が大幅に減少しています。



※20～40代は男性が多く、80～90代は女性が多くなっています。

5年前と比べると男性、女性ともに40代、70代、90代が増加していますが、それ以外の年代は減少しています。特に20代女性の減少が顕著です。

3. 第2次ビジョンの振り返り

第2次ビジョンの期間中、8つの分野でそれぞれ分野別目標・活動の柱・活動領域・活動内容を定めて活動を展開してきました。

(1) 事業評価について

分野ごとの活動領域から事業を起こした実行計画では34の事業を計画し、そのうち30事業を実施しました。

実施した事業内容について部会ごとに評価を行った上で、理事会で協議し、意見を付しました。

事業実施率 88.2%
実施事業の平均評価点 4.2点（5点満点）

<部会ごとの評価のまとめ>

◆自治部会

分野別目標：地域の目線で課題を洗い出す

活動の柱：○ 各部会、各種団体と連携しながら集落の課題を相談解決する。
○ 安心安全な暮らしを守る

評価平均点：5.0点

主な事業：・地区懇談会開催事業
・全団体との意見交換会
・防災安全教室、地域防災訓練の開催

意見等：新型コロナウイルス感染症の影響により懇談会及び意見交換会を実施することができなかったが、今後も引き続き集落の課題解決や、災害に強いまちづくりを目指し取り組んでいく。

◆生活福祉部会

分野別目標：住民が元気で安心して暮らせるまちづくり

活動の柱：○ 住民が自由に移動できる環境づくり
○ 子育てしやすい環境づくり
○ 高齢者が安心して暮らせる環境づくり
○ 世代間・集落間の交流ができる

評価平均点：3.8点

主な事業：・地域内交通「みなとバス」の運行
・お出かけふれあいサロン事業
・みなとつながりサービス

意見等：令和3年度からみなとバスが有償運行に移行し、実績も増加傾向にある。今後は潜在ニーズの掘り起こし等を行い、更なる利用促進を図っていく。

◆産業交流部会

分野別目標：地域資源を活かした、産業が活発で交流が盛んなまちづくり

活動の柱：○農産物のブランド化
○地域産物を使った産業の創出
○外部との交流を推進する

評価平均点：3.3点

主な事業：・湊産農産物直売所事業
・湊ブランド推進事業

意見等：農産物直売所の新規出品者及び出品物の種類が増加し、リピーターも増加した。また、令和3年度から子ども食堂への野菜の提供を行い、フードロスに貢献した。

◆教育環境部会

分野別目標：住民がのびのびと成長する、生涯学習が盛んなまちづくり

活動の柱：○住民が地域を誇れる
○スポーツが盛んな地域
○生涯学習の活性化
○湊の自然、動植物を守る
○芸術と文化があふれるまち

評価平均点：4.4点

主な事業：・湊スポ少サポーター事業
・たたら炉実証

意見等：スポ少サポーターを毎年増やすことができ、子どもたちの育成支援に貢献することができた。たたら炉実証については活動回数が大幅に増え、今後の事業の構想を練ることができた。地域の花であるサギソウについては、今後栽培促進につながる事業を行っていきたい。

◆湊PR隊

分野別目標：湊地区の魅力をPRする

活動の柱：○地区の情報を内外に発信する

評価平均点：4.6点

主な事業：・広報紙（笑顔通信）作成
・ウェブ・SNSを活用した情報発信
・みなとチャンネルを活用した情報発信

意見等：笑顔通信の発行や活動PRビデオの作成、HPやフェイスブック等のSNSでの発信、みなとチャンネルでの情報発信など、地域内外への情報発信に努めた。今後はHPのリニューアル等を実施し、更なる情報発信を行っていく。

◆役員会・事務局

分野別目標：継続した地域づくりを目指す

活動の柱：○組織を円滑に運営し、強化していく
○地域づくりの計画を作る

評価平均点：4.5点

主な事業：・組織の法人化に向けた調整
・地域づくりビジョン進行管理

意見等：平成31年4月にNPO法人格を取得し、持続的な組織体制を構築することができた。また、各部会の取組のサポート、行政や企業との連携等、円滑に組織を運営することができた。今後は組織や事業の評価を定期的に行っていくことで、継続できる仕組みづくりを目指す。

※詳細は別紙のとおり

4. 第3次ビジョンの趣旨

(1) 第3次ビジョンの策定の考え方

第2次ビジョンの方向性を基本としながら、事業評価や地域カルテによる地域の状況の変化に対応した内容を取り入れる形で重点項目を設定し、組織体制の見直しも行いながら策定を行いました。

■地域カルテからの課題

人口減少や少子・高齢化の進行、空き家の増加などにより、今後地区の運営がより困難になっていく可能性があり、地域を維持していくためには若者定住を推進したり、より少ない人口で暮らしていくための仕組み作りが必要と考えられます。

■第3次ビジョンで重点的に取り組んでいく項目

<新たな取組として検討するもの>

- ・基幹集落センターの利活用の推進
- ・カーボンニュートラルの取組の推進
- ・交流人口の増加に向けた取組（婚活や移住関係も含む）
- ・高校生が通学しやすい環境づくり
- ・空き家の利活用の推進

<今までの取組と関連して継続・発展させるもの>

- ・地区の人口推移の分析と共有
- ・地元野菜の小中学校の給食等への提供
- ・レクリエーション公園等の地域資源の有効活用
- ・湊ガイドの養成など、体験メニューを活用する取組
- ・各種団体との連携の強化
- ・御用聞きサービス

<市や公共的団体の事業との連携（新規・継続）>

- ・みなとバス事業
- ・みなとチャンネル事業
- ・地区社会福祉協議会の地域福祉活動
- ・集落支援員
- ・地域おこし協力隊

(2) 第3次ビジョンの位置付け

この計画は、会津若松市自治基本条例の理念に基づき、湊地区におけるまちづくりを行う上での基盤となるものであり、住民と地区が目標を共有し、協働して地域づくりを進めていくための基本指針となるものです。

5. 第3次ビジョンの期間

この計画は、令和5(2023)年度から令和8(2026)年度までの4ヶ年の期間とします。

	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024	2025	2026
	H27	H28	H29	H30	R元	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8
市総合計画			会津若松市第7次総合計画									
湊地区地域づくり ビジョン	設立	1次ビジョン (H28~30)			2次ビジョン (R1~R4)				3次ビジョン (R5~R8)			

※ポイント

市の総合計画と期間を合わせる

事業構想サイクルがやりやすい期間 (計画→実行→評価→改善)

2年間を目標に中間評価を行い、事業構想サイクルを2回実施する

6. 将来像・基本目標・地域づくりのテーマ・重点項目

(1) 将来像

みんなと地域が輝き続けるまち

(2) 基本目標

歴史と自然・地域の宝を活用した魅力あふれる湊地区の創造

(3) 地域づくりのテーマ

地域・各種団体・協議会の連携で、住民みんなが活躍するまちづくり

(4) 重点項目

継続した地域づくりを行なっていくため、第3次ビジョンの4年間で以下を重点項目として取り組んでいきます。

○人口減少対策の推進

・人口減少対策として、移住交流事業の推進や、人口減少に合わせた地域運営の手法等を検討していきます。

・各種団体の人員減少に対策し、団体の事業継続を目的とした、団体間の連携の強化に取り組んでいきます。

○自主財源の確保

自主的な事業運営ができるよう、様々な自主財源の確保に取り組んでいきます。

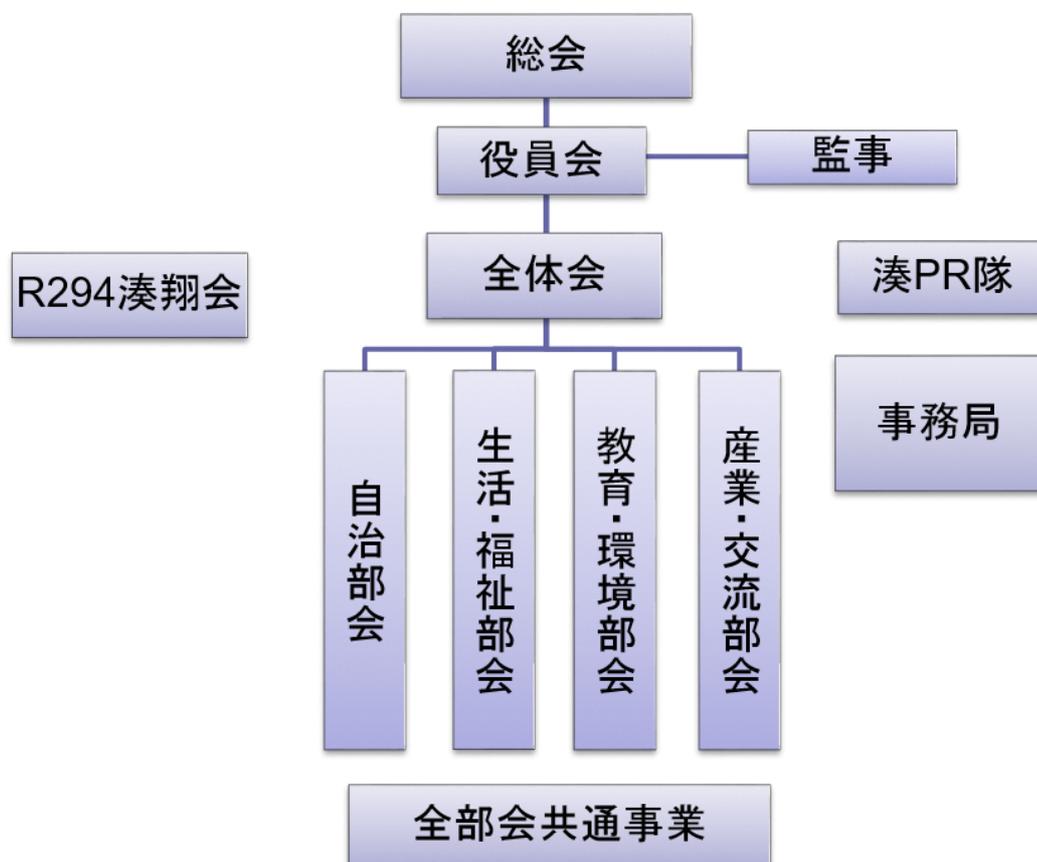
○基幹集落センターの利活用の推進

施設の適切な管理運営を行うとともに、地域住民の交流の拠点となるよう、利活用の推進に取り組んでいきます。

7. 分野別目標・活動の柱

社会の変化や、様々な地域課題の解決に向けて柔軟に取り組むため、新たな組織体制で取り組みを進めます。

みんなと湊まちづくりネットワーク 組織図 (令和5(2023)年4月～)



◆自治部会

分野別目標：地域の目線で課題を洗い出す

活動の柱：○各部会、各種団体と連携しながら集落の課題を相談解決する。
○安心安全な暮らしを守る

◆生活・福祉部会

分野別目標：住民が元気で安心して暮らせるまちづくり

活動の柱：○住民が自由に移動できる環境づくり
○高齢者が安心して暮らせる環境づくり
○世代間・集落間の交流ができる

◆産業・交流部会

分野別目標：地域資源を活かした、産業が活発で交流が盛んなまちづくり

活動の柱：○農産物のブランド化
○地域産物を使った産業の創出
○外部との交流を推進する

◆教育・環境部会

分野別目標：住民がのびのびと成長する、生涯学習が盛んなまちづくり

活動の柱：○スポーツが盛んな地域
○生涯学習の活性化
○湊の自然、動植物を守る
○芸術と文化があふれるまち
○子育てしやすい環境づくり

◆湊PR隊

分野別目標：湊地区の魅力をPRする

活動の柱：○地域の情報を内外に発信する

◆R294 湊翔会

分野別目標：次世代を担うリーダー・人材を育成する

活動の柱：○地域愛の醸成

8. 活動領域・活動内容・スケジュール

湊地区地域づくりビジョン実行計画(令和5(2023)年度～令和8(2026)年度)

部会名	分野別目標	活動の柱	活動領域	活動内容	事業内容	KPI	R5 (2023)	R6 (2024)	R7 (2025)	R8 (2026)		
自治部会	地域の課題洗い出す	各部会、各種団体と連携しながら集落の課題を相談解決する。	集落ごとの意見を聞き、課題の把握、対応を検討する。	・集落実態調査の実施	・全集落で地区懇談会を開催	地区懇談会開催数	計画:2回	計画:2回	計画:2回	計画:2回		
				・空き家の有効活用サービスの検討及び実証と実装	・各種団体との意見交換会の実施	・全団体との意見交換会を実施	サービスの運用	意見交換会開催数	計画:検討・実証	計画:実装	計画:実装	計画:実装
				・交通安全・防災・救急救命(AED等の普及)についての検討	・地域防災ネットワークの構築 ・防災安全教室、地域防災訓練を開催する	教室・訓練開催数	計画:1回	計画:1回	計画:1回	計画:1回		
生活・福祉部会	住民が自由に移動できる環境づくり	住民が元気で安心して暮らせます	高齢者が安心して暮らせる環境づくり	・地域内交通「みなとバス」運行をする	・地域内交通「みなとバス」運行をする	みなとバス利用者数	計画:1300人	計画:1300人	計画:1300人	計画:1300人		
				・「湊ふれあい号」の利用を促進する	・「湊ふれあい号」の利用を促進する	湊ふれあい号乗車数	計画:30回	計画:30回	計画:30回	計画:30回		
				・第五包括支援センターが支援を行っている地域において、介護予防を目的とした地域交流サロンを開催する。	・第五包括支援センターが支援を行っている地域において、介護予防を目的とした地域交流サロンを開催する。	地域交流サロン実施回数	計画:156回	計画:156回	計画:156回	計画:156回		
				・湊地区全地区を対象とした「お出かけ、ふれあいサロン」を開催する。	・湊地区全地区を対象とした「お出かけ、ふれあいサロン」を開催する。	お出かけ、ふれあいサロン開催回数	計画:6回	計画:6回	計画:6回	計画:6回		
				・おせち食材宅配サービス	・おせち食材宅配サービス	おせち食材宅配サービス利用者数	計画:80人	計画:80人	計画:80人	計画:80人		
				・みなとチャンネルを活用した新しい見守りサービスの検討	・みなとチャンネルを活用した新しい見守りサービスの検討	サービスの実装	計画:検討・実証	計画:実装	計画:実装	計画:実装		
				除雪ボランティア等、除雪体制の充実を検討	・湊の除雪を考える事業	ボランティア活動訪問戸数	計画:80戸	計画:80戸	計画:80戸	計画:80戸		
				有償ボランティアの仕組みを検討する	・有償ボランティアの仕組みの検討及び実証を行い、地域に根付かせる	有償ボランティアの制度化	計画:検討・実証	計画:実装	計画:実装	計画:実装		
				世代間・集落間の交流ができる	・子どもと高齢者の交流、子育て世代同士の交流等、世代間・集落間の交流を創出する取組の検討及び実証を行い、定期的な開催を目指す	取組の検討と実装	計画:検討・実証	計画:実施	計画:実施	計画:実施		

部会名	分野別目標	活動の柱	活動領域	活動内容	事業内容	KPI	R5 (2023)	R6 (2024)	R7 (2025)	R8 (2026)
産業・交流部会	地域資源を活かした、 産業が発展が できる地域交流 交流が盛ん なまちづくり	農産物のブランド化	特徴のある農産物の生産	農業者、農業団体と連携し適正作物の調査・市場調査などを行う	・湊ブランド推進事業	事業実施回数	計画:1回	計画:1回	計画:1回	計画:1回
		地域産物を使った産業の創出	直売所、農家レストランなどの設置	地元農産物を直売、加工して販売する直売所や農家レストランなどの設置を検討	・基幹集落センター駐車場で「湊産農産物直売所」を開設、運営する。市内の農産物イベント等にも積極的に出店する。	直売所来場者数	計画:1600人	計画:1600人	計画:1600人	計画:1600人
			地産地消の推進	地元農産物の地産地消を推進する	・地元農産物の学校給食等への提供	農産物出荷者数	計画:10人	計画:10人	計画:10人	計画:10人
		外部との交流を推進する	地域資源を活用した交流イベント	魅力ある地域資源(人材、食、猪苗代湖の浜、背あふり山など)を利用した交流の催しの開催を検討	・交流人口につながる体験メニューを開発する。	体験メニュー利用者	計画:10人	計画:10人	計画:10人	計画:10人
					・湊もちそば祭り開催事業(全部会共通事業)	もちそばまつり参加者数	計画:300人	計画:300人	計画:300人	計画:300人
					・冬期間のイベント開催事業(全部会共通事業)	イベント参加者数	計画:100人	計画:100人	計画:100人	計画:100人
教育・環境部会	住民がのびのびと成長する、生涯学習が盛んなまちづくり	スポーツが盛んな地域	スポーツ団体の活性化	スポーツ団体の活動内容の周知、地域行事との連携を行う	・スポーツ団体の活動を地域で支え合うため、「湊スポーツサポーター制度」を作り、指導者、活動経費等、地域の人が応援する仕組みを作る。	サポーター登録数	計画:300人	計画:300人	計画:300人	計画:300人
		生涯学習の活性化	地域の魅力を掘り起こし、子どもたちに地域のことを伝える公民館活動との連携と大人と子どもとの交流促進	・保育園・小学校・中学校と地域との連携の強化 ・地域の魅力(見どころ、自然、歴史、体験、その他)を掘り起こして活用する方法を検討	・湊ガイドを育成を目指した現地調査の実施 ・地域の宝マップ作り ・たたら炉実証 ・湊地区教育連携事業	事業実施回数	計画:20回	計画:20回	計画:20回	計画:20回
				大人・子どもそれぞれの事業の充実、相互連携を促進する	・公民館活動との連携促進事業	事業実施回数	計画:5回	計画:5回	計画:5回	計画:5回
		湊の自然、動植物を守る	生態系・環境を守る	昆虫、魚類の調査、生育出来る環境づくり	・カブトムシ、クワガタムシが生育しやすい場所の調査・整備 ・虫取り体験メニュー作り	調査実施回数	計画:5回	計画:5回	計画:5回	計画:5回
				カーボンニュートラルの取組を推進する	・カーボンニュートラル推進事業の検討及び実装	事業の検討及び実装	計画:検討・実証	計画:実施	計画:実施	計画:実施
		芸術と文化があふれるまちづくり	美しい植物があふれる環境づくり	花壇の整備や、花街道の整備	・サギ草栽培展示事業(全部会共通事業)	サギソウ展来場者数	計画:200人	計画:200人	計画:200人	計画:200人
				芸術と文化があふれるまちづくり	・大学やアーティストとの継続した連携を行い、作品展等を実施する。	連携事業実施回数	計画:1回	計画:1回	計画:1回	計画:1回
子育てしやすい環境づくり	子育て環境の充実	遊び場など、子育てしやすい環境づくりを検討	・子育てしやすい環境づくり会議開催事業	会議開催数	計画:1回	計画:1回	計画:1回	計画:1回		

部会名	分野別目標	活動の柱	活動領域	活動内容	事業内容	KPI	R5 (2023)	R6 (2024)	R7 (2025)	R8 (2026)
湊PR隊	湊地区の魅力をPRする	地区の情報を内外に発信する	湊地区の魅力をPRする	各部会と連携しながら情報を集め、外部にPRする	・マスメディアへの広報を行い、地域外へ地区の取組をPRする。 ・広報紙を作成し、地域内に協議会の取組をはじめとした地域情報をPRする。 ・ウェブサイトやSNSを活用した情報発信を行う。 ・みなとチャンネルを活用した情報発信	メディア掲載回数	計画:4回	計画:4回	計画:4回	計画:4回
						広報紙発行回数	計画:4回	計画:4回	計画:4回	計画:4回
						情報発信回数	随時	随時	随時	随時
						みなとチャンネル利用世帯数	計画:120世帯	計画:120世帯	計画:120世帯	計画:120世帯
事務局	継続した地域づくりを目指す	組織を円滑に運営し、強化していく	行政、大学、企業と連携し、組織を運営する	会員、各種団体と連携しながら会議を運営し、各部会のサポートをする。	・会議の企画運営	会議開催回数	計画:30回	計画:30回	計画:30回	計画:30回
		施設の利活用を推進する	基幹集落センターの利活用の推進	基幹集落センターの利活用の推進を図る	・施設情報の発信 ・自主事業の開催	施設の利用回数	計画:120回	計画:120回	計画:120回	計画:120回
		地域づくりの計画を作る	地域づくりビジョンの進行管理	地域づくりビジョンの進行管理	・地域づくりビジョン進行情勢	ビジョン評価及び策定	年度評価	中間評価	年度評価	3次ビジョン評価、次期ビジョン策定
R294湊翔会	次世代を担うリーダー人材を育成する	地域愛の醸成	湊地区のPR	観光資源の発掘・PR活動の実施	・新たな観光資源の発掘 ・PR隊と連携し、観光資源を活かした湊地区のPR	効果的なPR方法の検討及び実施	計画:検討・実証	計画:実施	計画:実施	計画:実施
			世代間交流の推進	世代間の交流を目的としたイベントの開催・企画	・みなとゴルフコンペの開催 ・新たなイベントの企画・立案	イベント開催回数	計画:3回	計画:3回	計画:3回	計画:3回